

【2017年度不開講】 2017年度 体育学研究科(体育学専攻) 博士前期(修士)課程シラバス

科目名(副題)	開講年次(セメ)	授業形態	単位	担当者名
スポーツ社会学研究 I	1・2年次春学期 (1・3セメスター) 集中講義・隔年開講	講義 ※演習含む	2	川西 正志
授業概要				
<p>体育・スポーツの現状と課題について、社会学的研究視点から考察する。スポーツと個人・社会の関係を、これまでの社会学的研究動向から概観し、批判的かつ実証的に、その理論的枠組みや方法論について課題と展望について考究する。</p>				
授業目標(到達目標)				
<p>体育・スポーツの社会学的研究の現状について理解し、その研究成果に関する基礎的知識を習得する。研究法については先行研究をレビューし、そこでの現状と課題について理解する。</p>				
成績評価方法・基準				
<p>平常点30%、授業への取り組み状況30%、最終レポート40% (ただし、規定の出席回数をクリアしている者が評価対象者となる。)</p>				
教科書・教材・参考文献 等				
<p>[テキスト] 池田勝、守能信次、川西正志他著「講座スポーツの社会科学シリーズ:スポーツ社会学」 杏林書院。 川西正志、野川春夫編著「生涯スポーツ実践論」市村出版。 [参考文献] 必要な資料等随時配布する。</p>				
授業計画				
	項目・内容			
1	スポーツ社会学とは			
2	社会学的研究法—問題意識と理論的枠組み			
3	社会学的研究法—ケーススタディーと社会調査			
4	スポーツへの社会化			
5	スポーツ・プレイ・ゲーム論			
6	遊びの社会文化的側面			
7	スポーツの国際比較—指導者資格			
8	スポーツの国際比較—スポーツ政策			
9	スポーツの国際比較—スポーツ集団			
10	身体活動と加齢の社会学—社会学的問題意識と背景			
11	身体活動と加齢の社会学—研究動向			
12	スポーツレジャー行動とライフスタイル研究			
13	スポーツレジャー行動とQOL研究			
14	スポーツ社会学研究の課題と展望			
15	定期レポート			
履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習)				
<p>本講義の事前に社会におけるスポーツの課題を抽出しておき、社会調査法や統計的知識についても学習しておくこと。講義の中では随時プレゼンテーションを実施します。講義後には、事前に抽出した課題の解決策についても理論的背景とともに明らかにするようにしてください。</p>				